ＬＰガス用ガス栓

ヒューズガス栓
取扱い説明書

伊藤鉄工株式会社

愛知県碧南市道場山町1丁目70番地
ＴＥＬ〈0566〉４１-４３２８㈹
ＦＡＸ〈0566〉４８-０６９２番

は じ め に

　このたびは、ヒューズガス栓をご採用いただきましてありがとうございました。

　この取扱説明書は、ＬＰガス販売事業者・ＬＰガス配管設備士の方を対象に製品説明、安全のために、設置工事及び維持管理の順に主として作成してあります。

　お客様にＬＰガスを快適にご使用していただくためには、ＬＰガス法・省令補完基準・設備士講習テキスト等の基準を遵守すると共に、この取扱説明書を読んでＬＰガス設備の安全を図って下さい。

　尚、説明文の前に⃠や⚠を付してありますが、⃠は禁止・⚠は警告又は注意を表したものです。

1　製　品　説　明

このヒューズガス栓は、ゴム管が抜けたり、切れたりして大量にガスが流出した場合にガスを遮断する安全機構を内臓しております。このガス栓は、移動式の小型燃焼器具〔ガス消費量15KW(1. 1kg)以下〕と接続し、出口側の形状によって選択して使用して下さい。さらにつまみが中間ではガスが流れないＯＮ、ＯＦＦ機構等が付加されたものもあります。

⚠ 製品には、保証書と取扱説明書を添付しておりますのでご確認下さい。

■主な仕様と各部の名称

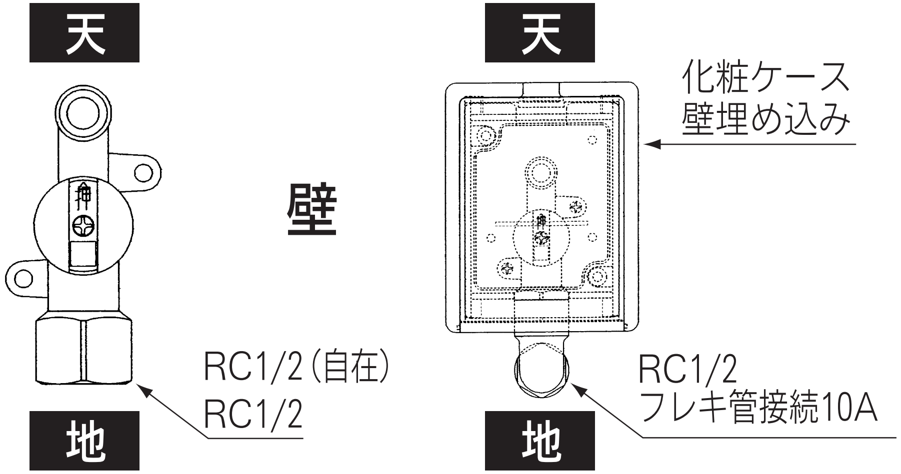
項　目	主 な 仕 様
接続方法　入口側 出口側	Ｒｃ½（フレキ管接続10Ａ、15Ａ） コンセント型又はホースエンド型
空気の流量 規格値　圧損水柱 10mm の時	700ℓ/ｈ以上
ヒューズ作動流量空気	1200±120ℓ/ｈ
使用できる燃焼器具の最大消費量	15KW(1.1kg/ｈ)
使用圧力範囲	水柱　230mm～330mm
使用ガス	ＬＰガス
開閉操作	つまみ押し回し

⚠ ナイロン栓は突き刺して取り外さないで下さい。
機種により中に組み込まれている精密部品(緊急しゃ断弁)を破壊する恐れがあり、ご使用できなくなります。

壁取り付型ヒューズガス栓の施工上の注意

品名　GPLF-1200（ON）　入り口側フレキ管接続10A
GPLF-1200（1/2）入り口側RC1/2（自在）
PLF-1200G（1/2）入り口側RC1/2（自在）
PLF-1200（1/2）　入り口側RC1/2

⚠ 上記ガス栓は過流出防止機構（作動流量）の性能確保の為取り付け方向が決められております。



フレキ管接続工事に携わる方へのお願い

！警告
- ガス栓とフレキ管の接続工事は、液化石油ガス設備士の方が正しく施工して下さい。
- 工具はモンキーレンチを使用して下さい。（パイプレンチは使用しないで下さい）
- フレキ管には不必要な曲げを加えないで下さい。
- 接続工事終了後、漏洩検査を実施して下さい。
- 燃焼機器を交換する場合は自在ナット側から行ってください。

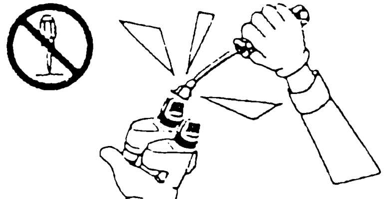
※フレキ管接続部分は絶対に緩めないで下さい。

【施工上の注意】
！注意
- 接続部にゴミなどの異物の無いことを確認して下さい。
- 自在ナットを燃焼機器に直接接続して下さい。
- ガス栓の自在ナットを燃焼機器接続口へ手で充分ねじ込んで下さい。
- 更に工具を使用して自在ナットを締め込んで下さい。
- 施工後はガス栓の開閉が円滑に行えることを確認した後開栓にして下さい。

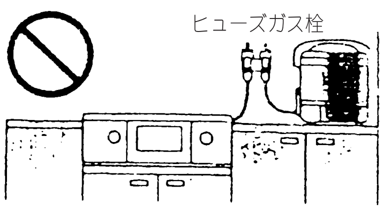
2 安 全 の た め に

このガス栓は、ＬＰガス専用のヒューズガス栓です。
ＬＰガス以外に使用すると回転力、気密性等の機能が損なわれる恐れがありますので使用しないで下さい。

この製品は、工場で精密に組み付けされたものです。
分解・改造するとガス漏れによる事故発生の原因となりますので絶対に分解・改造はしないで下さい。


分解しない

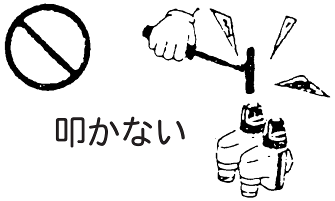
冠水する場所や湿度の高いところ、洗剤の掛かるところ又は、有害なガス（アンモニア・亜硫酸ガス等）が発生する場所に設置すると経時的に耐食性を劣化させますので避けて下さい。



炎を受ける場所には設置しない

燃焼器具の炎を直接受けるところや輻射熱を受ける場所への設置は避けて下さい。

衝撃を受けやすい場所は避けて設置して下さい。


叩かない

つまみが固くなったガス栓（操作力6kgf・cm以上）は、無理に回すとガス漏れの原因となります。

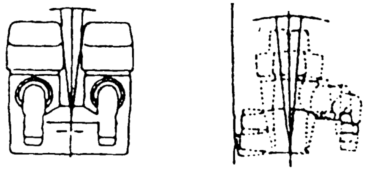
⚠ この製品で使用できる燃焼器具は、ガス消費量が１時間当り15KW(1.1kg)未満の移動式燃焼器具です。
ガス消費量15KW(1.1kg)以上の燃焼器具で使用した場合は、ヒューズが作動することがあります。

3 設 置 工 事

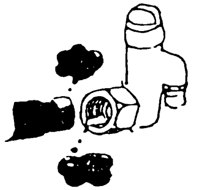
⚠ 配管に取り付ける時はガス漏れ等のトラブルを防止するため、ねじ部の切粉やゴミ等の異物が管内に入らないように完全に除去して接続して下さい。

⚠ ヒューズ作動機能保持のため、ガス栓が前後左右に傾かないよう、垂直・水平に取り付けて下さい。

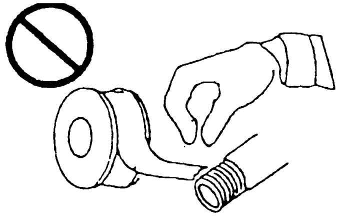
傾き範囲 5°以内　傾き範囲 5°以内



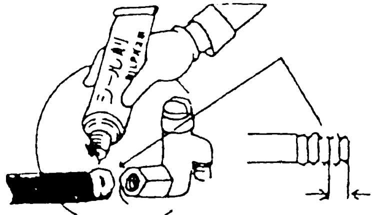
⚠ シールテープの端切が管内へ侵入することを防止するため、シールテープの使用を避け、耐LPガス性のシール剤(半乾性のもの)を使用して下さい。


接続部の異物を除去する

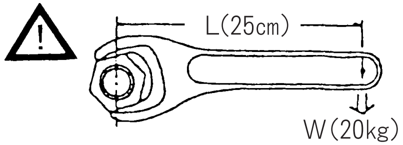
⚠ 歪み等によるガス漏れを防止するため、取り付ける時には必ずねじ込み側本体六角部にスパナを正しく掛け、過剰締付けとならない力(500kgf•cm)以下で捻じ込んでください。（パイプレンチ等をスパナの代用にして締め付けないで下さい）


シールテープは使用しない

⚠ 台座自在のものは、上部止めねじを緩めラチェットが自由に回転することを確認してから取付けて下さい。
取付後ラチェットを嵌合させ上部止めねじで固定して下さい。


2山を残す

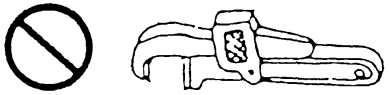
⚠ 設置完了後には、気密試験等の法定検査を実施し、ガス栓のつまみが正常に作動することを確認して下さい。



スパナを使用する

⚠ ガスの流れ方向と逆に出口側と入口側に接続して使用しないで下さい。

⚠ ゴム管が長いとヒューズ作動が不能となりますので、できるだけ短くして接続して下さい。

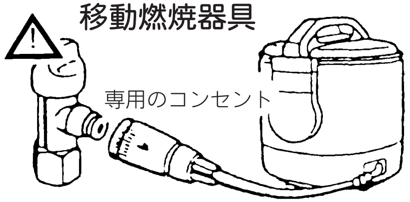

パイプレンチで締め付けない

4 エアーパージ及び燃焼試験

⚠ ⑴ エアパージは、ガス放出口付近に火気の無いことを確認した後、エアパージ治具をヒューズ栓に接続して「全開状態」にして作業を行ってください。

⑵ ガス栓の開閉操作と同時に「全開状態」でヒューズが作 動することを確認して下さい。

⚠ ⑶ 燃焼試験は、エアパージ後にガスコンセント付き燃焼器具用ホース等を用い、ガス栓と燃焼器具とを接続して行ってください。

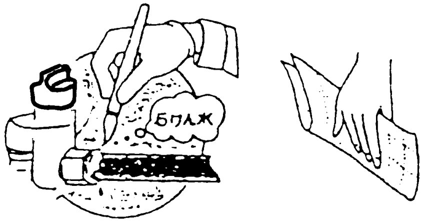


（注）新設・増改築工事の場合、供給開始まで必ず前記（1)～(3)を行って下さい

5 維　持　管　理

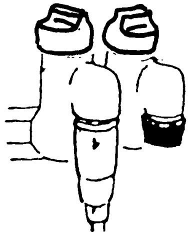
⚠ 点検・調整時には、ガス漏れの他、つまみの操作性についても確認し、つまみの回転が固いものはガス漏れの原因となりますので新品と交換して下さい。

⚠ ガス漏れ検知液を塗布した後は、錆等の発生を防止するためよく拭き取って下さい。



検知液は拭きとる

⚠ 接続されていないガス栓には、必ずコンセントキャップ又は、ホースエンドキャップ、止め栓を施して下さい。



使わない方にはキャップをする

⚠ ゴム管等には、ガスを浸透する性質がありますので、特に新しい場合はガスを吸着（透過）するため、ガス栓と燃焼器具との間（ゴム管部分）が負圧となることがあります。

ゴム管に負圧状態が生じた時にガス管のつまみを開くとヒューズが作動する場合がありますので、燃焼器具の器具栓を閉じ、つまみの開閉動作を繰り返すことによって負圧状態が解消できますから正常な状態にしてご使用下さい。

⚠ この製品は生産物賠償責任保険に加入しており、有効期間は７年間です。

お 客 様 へ の 説 明

1. 使用方法を取扱説明書に従ってお客様に説明して下さい。
2. 保証及び保証書に関する必要事項をお客様へ説明して下さい。
3. このガス栓について、お気づきの点、不明な点などございましたら、ガス栓販売事業者、または伊藤鉄工㈱までご連絡下さい。

●販売店

2005.8　改